

宮崎県の森

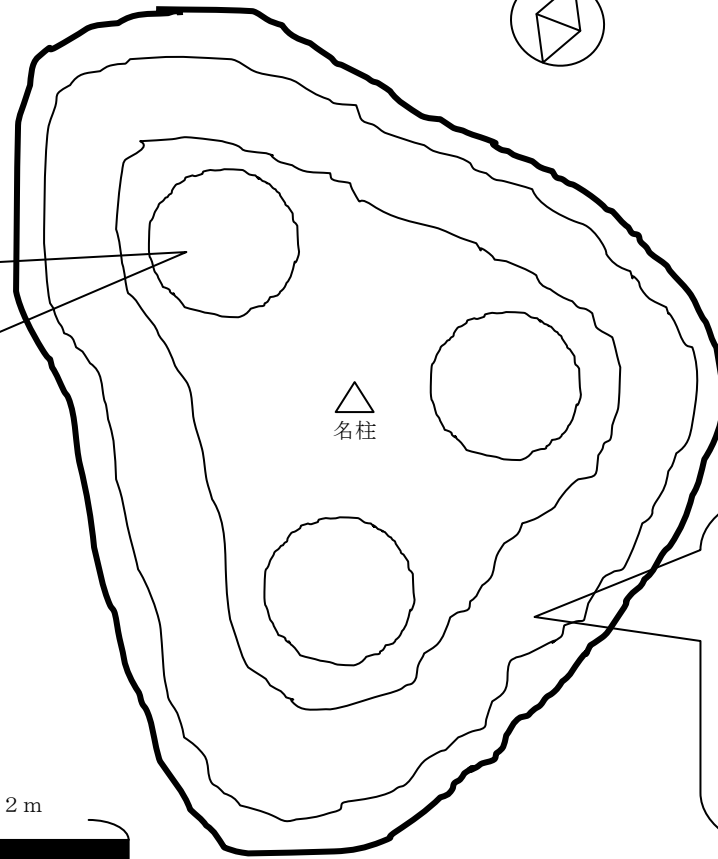
ダイナミックな大自然が残る宮崎県は、九州を代表するエリアです。内陸部は、高千穂から霧島にかけて、古代からの悠久の歴史に彩られた景観が続きます。海側は、日南海岸に代表される南国情緒あふれるリゾート地です。60・70年代は新婚旅行のメッカとして、また、今でもプロ野球のキャンプ地としても有名です。宮崎県の森は、県の木のフェニックスが植えられ、ひととき目を引くエリアになっています。

県の木 フェニックス(ヤシ科)

アフリカのカナリー島が原産です。病虫害に強く、フェニックス(不死鳥)と名付けられたと言われています。宮崎県では、大正の初め頃、天神山公園に植えられたものが最初です。日南海岸では、『南国宮崎』にふさわしい風景をかたちづくっています。



2 m



ヒラドツツジ(ツツジ科)

開花時期は4～5月。
長崎県平戸市からこの名がつけました。
ツツジ類の中でも代表的な品種で、国内の庭園・緑地に数多く使われています。